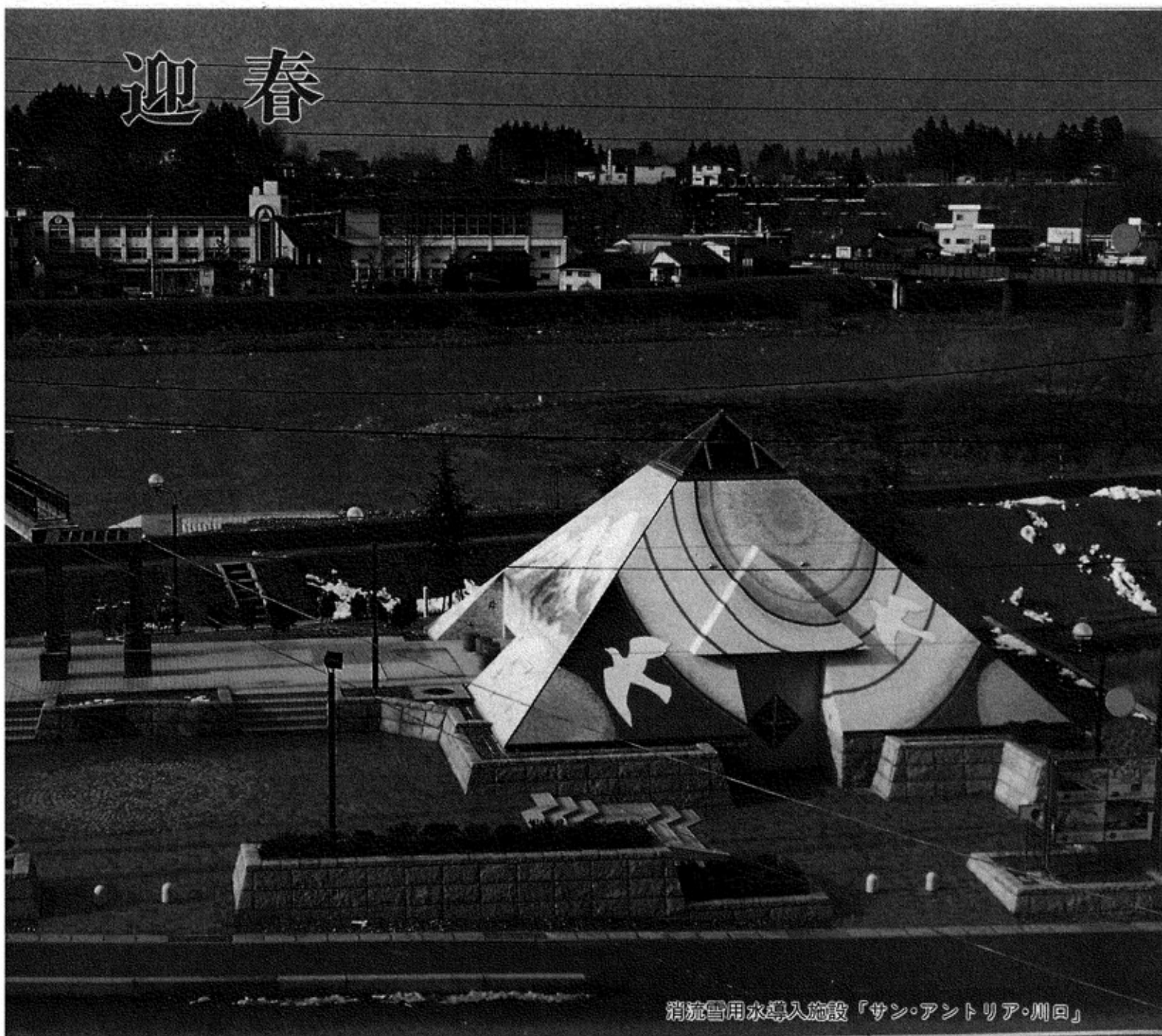


広報 かわぐち

No. 255 平成7年 1月

発行 新潟県川口町長 青柳 弘
編集 川口町役場 総務課
(〒949-75 ☎(0258)89-3111)



消流雪用水導入施設「サン・アントリア・川口」

町図書館 新刊紹介 **こんな本が入りました**

★生命の惑星 NHKスペシャルの出版化〈全5巻〉

1巻 海からの創世
・40億年前に原始の海に生まれた生命は地球とともに歩み私たちへと連なる奇跡の進化を遂げた神秘とドラマに満ちた生命進化の大潮流を解き明かす!

2巻 進化の不思議な大爆発 ～魚たちの上陸作戦～
・数十種だった生物が1万種にふえたカンブリア大爆発。魚が重力に挑戦し骨をつくり上陸に至るドラマ。進化史上の謎をヒトへと連なる脊椎動物の進化に焦点をあて辿り直す。
〈3～5巻は近日入館予定〉

★遊太 「夢見る子供童話賞」児童文学部門大賞受賞作品
—世代をこえて読まれるメルヘン—
12歳の少年の心のいたみをあざやかにえがいた。素晴らしい童話が生まれた。ふしぎなコオロギ少女との出会い。子供から大人まで年齢をこえて語り合えるメルヘンです。
—その他の新刊紹介—
「ゴングまであと30秒」(高橋秀実著)、「新潟県の街道」(郷土出版社)「田中正造」(由井正臣)、「御宿かわせみシリーズ」(全7作、平岩弓枝著)今年も多数の皆さんのご利用をお待ちしています。

健康づくりは食生活から

消化されない「せんい」の大きな効用 ㊤
食生活改善推進員おすすめの

炒めなます

1人当たりカロリー 130 kcal

- 材料 (4人分)
- | | |
|------------------|----------------|
| だいこん…………… 200g | 酢…………… 大きじ 2 |
| にんじん…………… 1/2本 | 砂糖…………… 大きじ 2 |
| れんこん…………… 200g | しょうゆ…………… 小じ 2 |
| 干しいたけ…………… 4枚 | だし汁…………… 大きじ 2 |
| 油あげ…………… 2枚 | 塩…………… 少量 |
| 油…………… 大きじ 1 1/2 | 白ごま…………… 少量 |
| ゆず…………… 少量 | |

- 作り方
- ①だいこん、にんじんは5ミリ幅の短冊切り、れんこんは半月薄切りにし、水につける。もどした干しいたけ、油揚げは細切りに。
 - ②野菜、油揚げを炒め、全体に油が回ったら、調味液(酢、砂糖、しょうゆ、だしの比率=3:3:1:3、それに塩少々)を回しかけ、いりつける。
 - ③仕上げにいりごま、ゆずの皮のせん切りを振る。
- 食物繊維のはたらき
食物繊維は腸内で、血圧を上げるナトリウムを吸着して体外に排出する作用があるので、高血圧の子防にもなります。
- お問い合わせは次の食生活改善推進員に
中林 和子さん(川口3) ☎89-2714
金子 ヨキさん(川口4) ☎89-2716

おもな内容

| | | | |
|---------------------|-----|---------------|-------|
| 年頭のごあいさつ…………… | 2～3 | 今年は亥年…………… | 8～9 |
| サン・アントリア・川口が完成…………… | 5 | 町の話から…………… | 10～11 |
| 町議会12月定例会…………… | 6 | お知らせコーナー…………… | 12～14 |
| 俳句…………… | 7 | | |

人口の動き
(平成6年12月20日現在)

| | |
|-----|--------|
| 男 | 3,077人 |
| 女 | 3,218人 |
| 計 | 6,295人 |
| 世帯数 | 1,547戸 |

新年祝賀交歓会のご案内

あけましておめでとうございます
町主催による新年祝賀交歓会を次のとおり開催いたします。
多数の町民の皆さんのご出席をお願いします。

■日時 1月2日 午前10時～11時

■場所 生涯学習センター 2階ホール

■主催 川口町

年頭の ごあいさつ



川口町長 青柳 弘

明けましておめでとございます。
平成七年の初春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年中は町政の各分野にわたって、何かとご指導ご協力を賜りましたことにまず心から厚く御礼を申し上げます。今年も相変ることなく、よろしくお願い申し上げます。

さて、ご案内のとおり国際社会におきましては、冷戦構造が終結いたしましたして平和共存に向け、新しい政治、新しい経済秩序の形成を模索して激動と転換を重ねながら、新しい歴史の扉を開こうと懸命の努力を続けております。これは、世界の百二十五の国と地域が参加して自由貿易を守り理想的な国際貿易を確立す

るため、世界貿易機関(WTO)を設立したことでもうかがえると思えます。

しかしながら、この平和共存の旗印に参加することは意義があると致しまして、この国際機関に加盟することにより、我が国最大の基幹作物であります米は市場開放され、食管法の廃止により日本農業は、農産物総自由化時代に突入することとなります。

こうした中で、我が国農業が後退することなく存続できるかどうか、その対応を強く求めていかなければならない極めて厳しい時代を迎えることを認識しなければならぬと思えます。

また国内におきましては、政治は自社両党主導の五十五年体制に終止符を打った細川

連立政権誕生が政界再編の第一幕とすれば、たゆまざる改革と国民参加型政党を旗印に結成された新進党の誕生は、二大政党制を志向する政界再編の第二幕が始まったと言えると思えます。これによりまして、政界再編のうねりは新たな段階を迎え、更に加速されるものと考えられます。

世界が今、新しい秩序を模索し、新しい時代の扉を開こうとしているとき、国民と共歩む開かれた政治を切に願うものであります。

経済は、三十カ月を記録した平成不況も国は景気回復宣言を致しましたが、いまだ実感に乏しく、雇用不安や企業倒産など景気の低迷は依然として続いております。国家財政も国債残高が年度

末には二百兆円を超え、更に税収の伸び悩みから新年度においては、減税財源となる三兆円の赤字国債、九兆円の建設国債が予想されるなど、景気の先行きは極めて不透明な状況が続いております。

大型プロジェクトが 順調に進展

このように極めて厳しい政治経済情勢の中でありましたが、当町におきましては計画致しました各般の事業がいずれも予定通り順調な進展をみておりまして、また一步、小幅ながら前進することのできた年であったと思えます。

即ち「定住構想の条件整備」として進めております新規の国庫補助事業であります先進的農業生産総合推進対策事業を始め、山間地域活性化総合対策事業、屋内ゲートボール場すばく川口建設事業など、大型プロジェクトの事業が順調に推移致しておりますのを始め、継続事業の中山間地域農村活性化総合整備事業、農村基盤総合整備事業、公共下水道整備事業など、大型プロ

ジェクトも極めて順調に進展をみております。

その他、国及び県の公共事業も予定の通りの進捗を見ております。なかでも、国の直轄事業であります全国ではじめての消流雪用水導入事業、総事業費五億六千万円、「サン・アントリア・川口」が見事に完成致しましたことは、雪に強い町づくり即ち「克雷タウン計画」を進めております当町と致しましては大きな喜びであります。これが運営にあたりましては万全を期し、機械除雪の余力を各町道に振り向け、全町の皆様が恩恵を受けられるよう配慮する考えであります。

新規国庫補助 事業も採択に

また、新年度の大型プロジェクトにつきましてはすでに審査が始まっておりますが、人口増加対策事業として進めております町営住宅建設事業、農林水産省主管に係る農村情報化施設整備事業、活性化施設整備事業、民俗資料館整備事業などが新規に国庫補助事

業として採択の見通しとなっております。

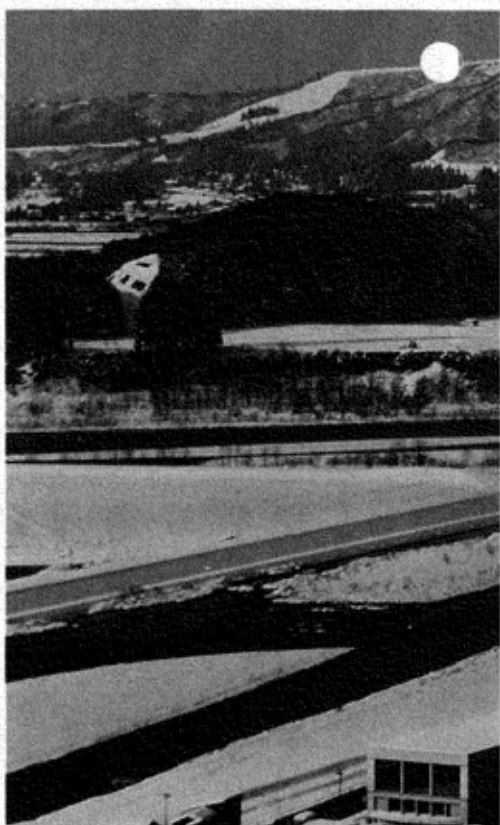
特に農村情報化施設整備事業につきましては、地方行政事務の広報活動や災害時の緊急情報の連絡など、広報の伝達を正確かつ迅速におこなう事を目的に、全地域に放送施設を設置するものであります。

継続事業につきましても、公共下水道事業を始め、農村基盤総合整備事業、田麦山簡易水道施設基幹改良事業などが前年を上回る予算配分が見込まれております。

極めて厳しい社会経済環境の中で、健全財政を堅持しながら各分野に目標を上回る成果を収めることの出来得ますことも、ひとえに町民の皆様への温い御指導と御協力によるものでありまして、心から厚く御礼を申し上げます。

今後の おぼろしい明日を 築くために

私は、平成七年の新春を迎え、皆様方より寄せられました期待にお応えするため、思



いを新たに全力を尽くして町政の遂行にあたる決意であります。

ご案内のとおり、今我が国は国際社会の中で経済大国としての責務を追求される厳しい局面に加えまして、人口の高齢化、価値観の多様化、高度情報化社会への移行など、まさに歴史的な変革期に突入いたしました。私はいつも申し上げておりますが、「時代は今歴史の大きな変革のうねりの中にある」ということであります。時代が変ろうとするとき、その変動をいち早く察知して自らの意識の改革を行わないかぎり、新しい時代に対応することはできないと思えます。

極めて厳しい社会経済環境の中で、我が川口町が大きな夢とロマンを求めて二十一世



紀へはばたくためには、常に行政の刷新、合理化を図り、自主的創造的行政を展開しなければならぬと思えます。

私は、時代の推移を見きわめ発想の転換を図りながら、今日まで進めてまいりました行政運営の基本方針であります企業感覚による合理的な町村経営により、後世に負担を残さない「健全財政の確立」と「先取行政」を展開いたしまして、「今日より素晴らしい明日を築くために」精魂を打ち込む所存でありますので、変らない友情と御指導を賜りますよう心からお願ひ申し上げます。

年頭にあたり、皆様の限りない御繁栄と御健康を心よりお祈り申し上げごあいさつといたします。

新年の ごあいさつ



川口町議会議長
古田 島 博 英

平成七年の新年を迎え、謹んで皆様方の限りないご多幸を、心から祈念申し上げます。

昨年は国内外ともに、波乱と激動の年でありました。政治、経済、産業等各般にわたり改革の論議が高まり、二十一世紀へ向けての胎動が肌感じられます。昨今であります。

こうした情勢の中で、皆様方から町政に対しまして深いご理解と、温かいご協力を賜りましたことに、心から感謝申し上げます。

さて、厳しい経済環境の中で確かな景気回復の兆しが見えず、失業率の上昇、設備投資の停滞、そして企業の海外生産による産業の空洞化等、先行き不透明な現況であります。加えて地方分権・規制緩和・税制・高齢化対策等々、さけて通れない課題が山積しております。

こうした事態をふまえて、今後地方自治体の行政需要は質・量ともに益々増大し多様化するのを認識しなければならぬと考えます。

当町は、これまで恵まれた財政事情の中で健全財政を堅持しながら、生活産業基盤の整備を始め人口増加対策等、定住構想の条件整備を大きく推進するなど、創意と工夫を重ねながら着実に躍進してま

いりました。

特に生涯学習センターを始め、斎場、滞在型宿泊施設、集落排水事業等大型プロジェクトが次々と完成しておりますことに皆様方とともに喜ぶものであります。

いよいよ地方の時代を迎え、清新の気みなぎるものを覚えます。

時代の変革は想像を絶するものがあり、その歴史の流れは社会に活力をよみがえらせ、制度や機構を変えるエネルギーとなっております。

新年にむかってこよなく愛する我が郷土を更に発展させるために皆様方とともに創造性、自主・自立の精神を尊重し、心の豊かさ、明るい地域づくり、議会ともども一体となって理想郷建設に努力する所存であります。

年頭にあたり厳しい社会の再構築に対処するために皆様方より旧に倍してのご支援ご協力をお願い申し上げます、新年のごあいさつといたします。



謹賀新年



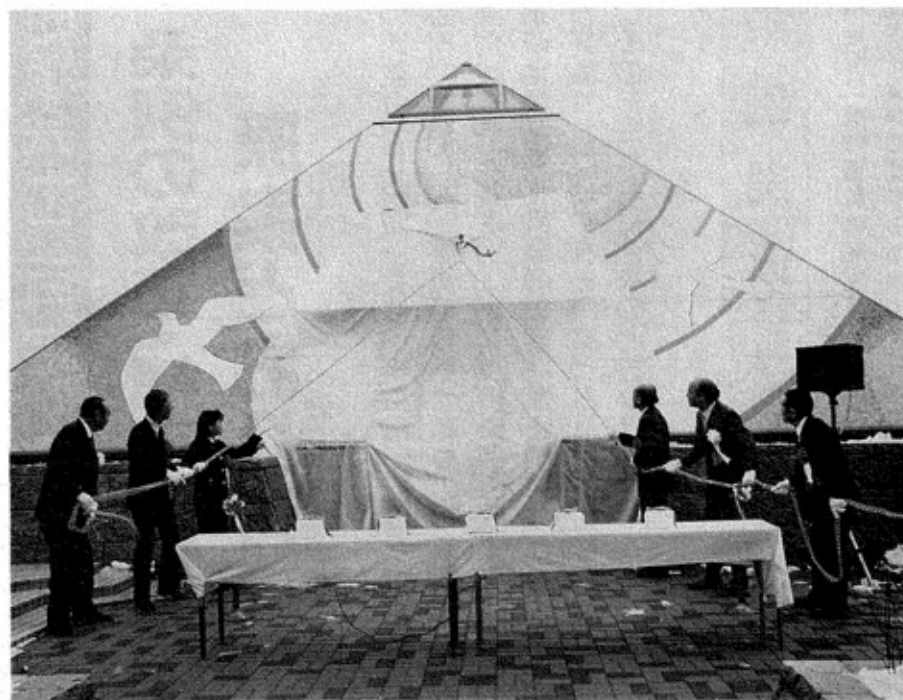
議長
副議長
議員

古田 島 博 英
堀 野 哲 夫
星 野 幸 一
角 張 聖 郎
丸 山 清 武
金 村 子 平
岡 部 庄 平
渡 部 精 三
覚 張 弘 蔵
関 野 重 雄
山 田 宗 一
内 山 五 郎
小 西 勝 平

本年もよろしくお願いたします

全国初の消流雪用水導入施設 サン・アントリア・川口 待望の完成

12月6日、建設省信濃川工事事務所が建設していた全国初の消流雪用水導入施設「サン・アントリア・川口」の竣工式が行われました。



▲除幕式

式典には、建設省、県、町の関係者をはじめ、色彩デザイン受賞者の笹崎弘子さん（小高）やネーミング受賞者の上村敏夫さん（川口4）など約六十人が出席して、建物の除幕式と通水式を行い、施設の完成を祝いました。

総事業費 五億六千万円
住民の安全確保と
生活環境の向上に

この施設は、東川口地区の消流雪用水に利用するため、魚野川から毎秒最大〇・六トンの河川水をポンプで大平沢川に供給するもので、平成2年に創設された建設省直轄事業の全国第1号として、昨年度に着工され、総事業費五億六千万円で建設されました。

大平沢川は、これまで屋根雪や道路除雪で捨てられた雪を完全に流すことのできる十

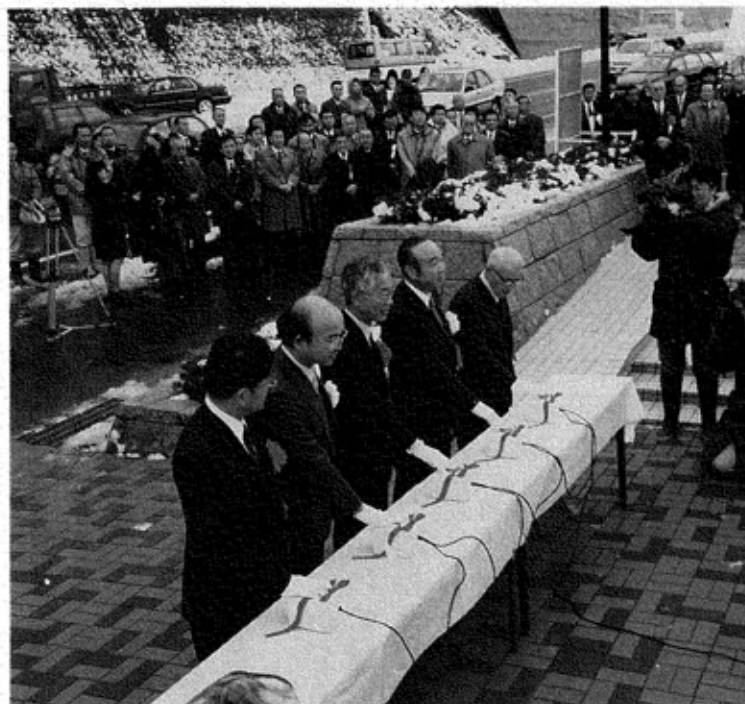
分な水量がなく、雪が川に詰まり浸水被害を生じるなど、早期にその対策が求められていました。この完成により一気には解消し、東川口地区の除雪作業の円滑化が図られ、地域住民の安全確保と生活環境の向上に大きな効果が期待されます。

気軽に利用できる 公園整備も

また「サン・アントリア・川口」は、建物周辺に芝生や

樹木、パーゴラなどが整備され、地域住民が気軽に利用できるポケットパークとして親しまれるよう、建物の色彩デザインとネーミングを一般公募した画期的な施設です。

ピラミッドの各面には、町の自然をイメージした「青空と太陽」「霊峰八海山」「清流魚野川に泳ぐ鮎」そして「川口祭り」がカラフルに描かれ、地域の新しいシンボルとしても、その役割が大いに期待されています。



▲ポンプのスイッチが押され通水を祝う

今年亥年

1995年は亥年。十二支の最後の干支です。12年に一度めぐってくる自分の年を迎えた10人の皆さんから、それぞれの思いを寄せていただきました。



イノシシは、日本では北海道、東北、北陸の一部を除いた広い範囲に分布しています。猪首という言葉があるように、イノシシは首が短い独特の体型で、口吻が長くその先に円盤状の鼻鏡があります。首から背にかけての剛毛は怒ると立つので、怒り毛と呼ばれます。

「山くじら」と呼んで食べられました。毛はブラシに、歯は印材に、胃液はマムシにかまれたときに使ったといいますが、それは怒り毛で縫ったようです。イノシシといえば、「猪突猛進」という言葉を連想します。でも今はゆとりの時代、暮らしにメリハリをつけ、猪突猛進したらゆっくり休むようにしたいものです。

二回目の亥年を迎えることになりました。小学生の頃、ここ木沢は楽しい所でした。中、高生になると、不慣れな所に思いました。卒業後、東京へ三年。Uターンで帰って来た時は、やっぱり家は楽だなあ、なんて思いました。二十四歳という時、もう一人前に見られるけど、私はまだまだ親にたよっているところがあるように思っています。これからは、小さな事でも身につけて、除々に大人らしくなればと思っています。



渡部 健一君
(川岸)
〔S 58年生れ〕

今年、ほくががんばりたいことは、二つあります。まず勉強です。五年生のころは予習が続けてできなかったのですが、今年毎日続けていこうと思います。次にスポーツです。去年は水泳部に入り苦しい練習をやりぬくことができ自信ができました。今年目標は親善運動会の長さより6位以内に入ることです。去年は苦しい練習も続けることができたので今年も勉強とスポーツのめあてに向かってがんばります。

私は、今年の四月で、中学生になります。中学生になったら、部活や、勉強を一生懸命やりたいと思っています。それに、友達もたくさんつくって楽しく過ごしていきたいと思っています。あと3ヶ月ほどで、小学校生活が終わってしまいます。3学期は、スキーでリレーメンバーになれるようにがんばりたいと思います。努力して、悔いがないようにしたいと思います。

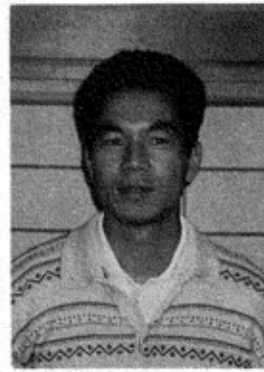


森山 美加さん
(貝ノ沢)
〔S 58年生れ〕

二十四年前、この世に生をもらい、両親、そして大勢の方にお世話になりながら、平々凡々生きてきた私も、昨年一児の父となりました。親となり、はじめてその大切さ、その難しさが、わかりはじめたような気がします。(諸先輩方にはまだまだあまいと言われると思いますが)私まだまだ未熟者の為、もっと視野を広げいろいろな事を学び内、外面的に大きな人間となり、大勢の方のお役に立てるよう頑張りたいと思います。



岡村 真人さん
(岩出原)
〔S 46年生れ〕



山田信一郎さん
(中新田)
〔S 34年生れ〕

いのししのごとく「前だけを見て、突き進む。」私達、3回目の年男・年女にすれば、理想の年頭の言葉なのではないでしょうか。自分の成すべき事、考え方等がほぼ決まり、それを達成する為に突き進む干支にあやかり、これが出来れば良いのですが、。けれど猪武者の様には困りますね。さて、川中同級生の皆さん、今年卒業20周年の区切りの年です。あの頃は、今問題になっている「いじめ」や「塾」などは無かったと思います。今を見つめ、20年間を語り合いたいものです。同級会で会いましょう!!

「猪突猛進」の亥年生れ、私自身の性格を表わしているように思います。十二歳の頃はスポーツ大好き少女、二十四歳の年は二人目の長女を出産、三十六歳、商工会婦人部役員で活動に燃えていた頃、そして今年はやっぱり昨年に続けてゴルフをもう少し向上させたいと思います。しかしながら四回目の年女ともなるとそろそろ長男・長女とも結婚適齢期。それに今年の春は特別……何はともあれ亥年が、私の名前の如く幸せでありますように願い、新年を迎えます。



小西 幸子さん
(川口3)
〔S 22年生れ〕

昭和二十桁にはなりきれない。世代を括る言葉に、「歌が唄えない」「ダンスが踊れない」とある。また、「出されたマンマは残せない」「駅弁は蓋の裏の飯粒から拾う」共感者は多い。戦争体験は、小学四年まで特に食糧難という飢えの記憶が消えない。戦後民主義という促成教育も、復古、回帰の原点を持たないものにとって今なお捨てきれない。価値感がひっくりかえる経験をいくつも通過してきた世代である。直行・猛進を誇った昔も、牙が抜けおちた今となつては、最早、猪とは言わない。



丸山 東威さん
(上河原)
〔S 10年生れ〕



森山恵美子さん
(大谷内)
〔S 34年生れ〕

昭和三十四年生まれ、豊かな時代、貧しさなど知らず育ってきた私。「もの」が満ちあふれ、情報の海の中で子育てに奮闘しています。親が意識してがまんするしつけをしなくてはと思いつつ、自分のわがままを棚に上げては、つい叱っては反省、甘やかしては反省の毎日です。日中、孫のためにがまんして世話をしている義母に感謝しています。今年も子育て真っ最中の私ですが、子どもと一緒に日々人間として成長していきたいと思っています。

今年は私にとって、職場の新築移転、勤続三十周年と、大きな節目の年になりそうです。いままではただ与えられた仕事を、ソツなく行っただけで進歩がなかった。これからは、自分の仕事で職場の目標とどんな関係があるか、はっきり認識してゆきたい。日本のほとんどの会社は、すべての仕事の任務が数値によって評価される方向に進んでいます。自分の生活と仕事の目標をもち、それにむかって、絶えず自己啓発を行ってゆきたいと考えています。



保科 正孝さん
(牛ヶ島)
〔S 22年生れ〕

還暦、ついに自分のところに来た。振り返ってみると夢中で来たようでもあるし又やっとなどどり着いた目的地のような気もする。ここまでこられたことでホット一息、嬉しくもあり、淋しくもありの心境である。この地点を折り返し点としての後半は健康上のこと、老後のこと等で時々不安になるが60代からが女ざかり、これからは本番と考え好きな野菜作りをしようと思つた。のんびりと自然の中で土と戯れるのは何よりの楽しみ、雪のとける春が早くも待たれる年のはじめなり。



小川 怜子さん
(川口2)
〔S 10年生れ〕



小林 綾子さん
(木沢)
〔S 46年生れ〕

町の話から

ぬくもり荘で

楽しいクリスマス集い

12月19日、ぬくもり荘でクリスマス交流会が行われました。これは、同施設を利用するお年寄りを一堂に集めて楽しく過ごし、施設ボランティアの皆さんの協力を得て行ったもので、この日は、ぬくもり荘のデイ・サービスの利用者や介護に携わる家族の皆さん、2階の居室を利用しての方など約四十名が訪れました。



交流会では、昼食サービスや靴下のプレゼントのほか、田麦山保育園の子供たちと民謡研究会の皆さんも慰問に訪れ、アトラクション

ンで唄や踊りを披露。また、子供たちからは手作りのレイもプレゼントされるなど、みんなとても嬉しそうでした。



▲子供たちが手作りのレイをプレゼント

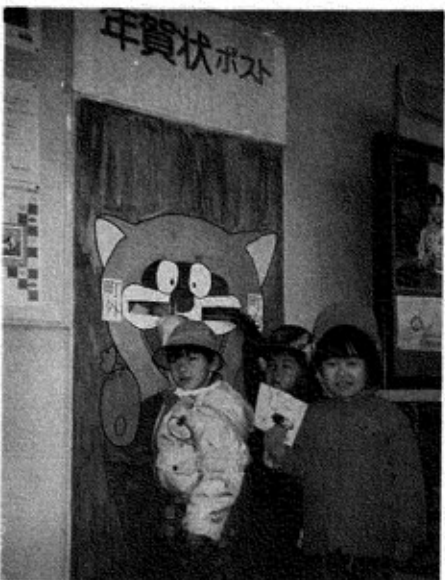
「川口中学校郵便友の会」に ワイプロが寄贈される



年賀状早目の差し出しに 上川保育園児が一役

このほど財団法人日本郵便友の会協会から、「活動が優秀な郵便友の会学校グループ」として「川口中学校郵便友の会グループ」に、ワイプロセッサー一式が贈られました。同校グループでは、国内外の友人と積極的に手紙を交換し合い、互いの親睦と平和な社会の実現を願い、あわせて文通の喜びとグループ活動の楽しさを学ぼうと、活動に取り組んでいます。

今回、信越局管内で8学校グループのうち一つに選ばれ、同校では日頃の活動が認められたものと喜んでいました。



年賀状の取扱いが始まった12月15日、上川保育園年長組十六人が、川口郵便局の窓口ロビーに特設された年賀状専用ポスト「ポコニヤン」に初投函。年賀状の早めの差し出しPRに一役買いました。

同局で取り扱う年賀状は、例年より少ない13万通を見込んでいますがピークは28日ごろと遅くなっています。同局では「早めに差し出しを」と話していました。

町の話から

寒さも、なんのその 手に汗にぎる熱戦

川口地域バレーボール大会
12月11日、川口地域バレーボール大会(6人制)が川口中学校体育館と生涯学習センターホールを会場に行われました。

この大会は、町バレーボール協会が春と秋の年2回開催しているもので、当日は、朝から寒い一日となりましたが、町内の中学生、一般の愛好者に加え、小千谷市、越路町などから男女十三チーム、約二百名の選手が参加、会場には寒さも忘れるほどの熱気があふれていました。

【大会成績】

- ▽一般の部
 - 優勝 チャンピオン
 - 準優勝 排友会A
 - 3位 東小千谷スポーツ愛好会
- ▽女子の部
 - 優勝 越路クラブ
 - 準優勝 東小千谷スポーツ愛好会
 - 3位 川口町バレーボール愛好会



県ジュニア展入賞

優秀賞に

山崎竜二君(1年)

このほど行われた第25回県ジュニア美術展覧会の絵画部門で、泉水小学校1年山崎竜二君の作品(写真下)が優秀賞に入賞しました。

この美術展は、ジュニアの県展ともいわれ、絵画、版画、デザインの一部門に、県内から三万一千点の応募がありました。なお、そのほかの入賞者は次のとおり。(敬称略)

【奨励賞】佐藤愛美(川口小1年)



山崎竜二君



▲山崎君の作品
「かみなりさんはなにしてる」

いろいろないろでかいたのでたのしかったです。

注文殺到!

しめ縄の出荷に大忙し

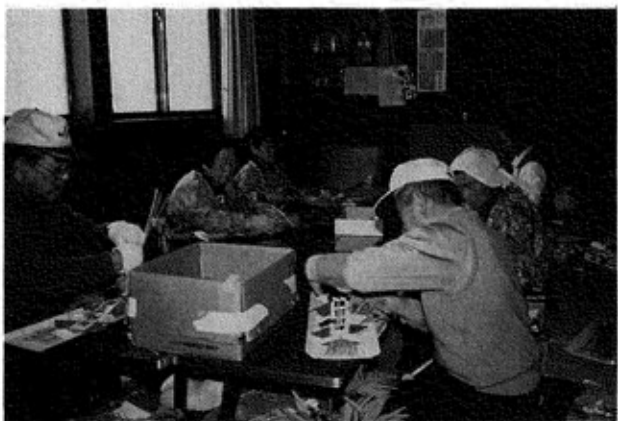
田麦山高齢者生産活動センター

町の特産品の開発と産地拡大に取り組んでいる田麦山高齢者生産活動センターで、高齢者の皆さんが年の瀬を控えた十二月下旬まで、正月用しめ縄の出荷作業に追われています。

しめ縄作りはベテランぞろいのワラ部会の皆さんが担当。加工用ワラを使い自宅などで丹念に制作したも

のに、同センターで連日十二、三人の高齢者が仕上げの飾り付けや包装箱詰め作業を分担。「ここに来てみんなと話ができるのが楽しくって」と話しながら手際よくこなしています。

生産されたしめ縄は二寸玉じめ、マンション用のドアじめ、横じめ、棒じめなど六種類、約四万本。高齢者の皆さんがいてねいに制作したしめ縄の評判はすこぶる好評で、各地から注文が殺到、今年も首都圏のほか、北陸や静岡、山形県などにも出荷され、町の特産品として定着しています。



1005年農業センサス

今日を知り 未来に活かそう 農業センサス

平成7年2月1日を調査の基準日として、「農業センサス」が実施されます。

この調査は、全国の農家など、農業を営む事業体のほかに、農業を請け負う事業体のすべてを対象とした極めて大規模な調査で、「農業の国勢調査」ともいわれ、5年に一度行われるものです。

1月下旬から調査員が調査票を持って伺いますので、調査にご協力をお願いします。

調査のねらい

この調査は、わが国農業の生産・就業等に関する基本構造の実態と変化を明らかにし、農用地、労働力、資本の資源総量をとらえるために行われます。

調査の対象

◇農家調査
すべての農家が調査の対象となります。

◇農家以外の農業事業体調査
協業経営体や会社等、農家以外のすべての農業事業体が調査の対象となります。

調査対象の把握と調査方法

◇農家調査

調査員が農家の皆さんを訪問し、経営耕地面積、農産物販売金額を聞き取り、調査の対象となるかどうか確認した上で、農家に対して聞き取りによる調査を行います。

◇農家以外の農業事業体調査
指導員が農家以外の農業事業体の代表者を訪問し、経営耕地面積、農産物販売金額を聞き取り、調査の対象となるかどうか確認した上



で、事業体の代表者に対して、聞き取りによる調査を行います。

◇農業サービス事業体調査

農林水産省の出張所の職員が農業サービス事業体の代表者に対して、聞き取りによる調査を行います。

一口メモ

「農業事業体」とは……
経営耕地面積が10アール以上、或いは調査期日前1年間における農業生産物の総販売額が15万円以上の規模の農業を行う世帯や協業経営、会社などの事業所をいいます。このうち、世帯である農業事業体を「農家」といいます。

特別養護老人ホーム 美雪園 寮父母採用試験

特別養護老人ホーム美雪園では、平成7年4月採用の寮父母採用試験を行います。

試験日時及び会場
2月19日(日)9時～

美雪園(広神村大字和田)

受験資格 昭和47年4月2日

昭和50年4月1日までに

生まれた人で、通勤時間30

分以内に居住できる人

試験内容 一般教養、作文、

口述の各試験

申込期間 1月10日～2月9

日までに美雪園に申し込み

下さい。

採用予定人員 1名

問い合わせ先 美雪園

(☎025791913000)

自然に親しむ 親子のつどい

期日 2月4日(土)～5日(日)

内容 親子もちつき、どんど

焼き、豆まき、親子で楽し

む歩くスキーなど

会場 新潟県少年自然の家

(北蒲原郡中条町)

対象者及び募集人員

小・中学生とその親100人(定員になり次第締め切りとなります)

参加費 一人三〇〇〇円

申込期間 1月5日～20日

(受付時間 9時～17時)

問い合わせ先

新潟県少年自然の家

(☎025414612224)

「リブ・イン川口町」 Uターン就職を応援します

ハローワークおぢやでは、Uターン就職希望者の登録制度を実施しています。Uターン登録者には、企業情報・求人情報及び生活関連情報を定期的に提供します。

なお、Uターン登録の受付は「ハローワーク」「新潟Uターン情報センター」(☎031527615826)などで行っています。

また、当川口町にUターンした人で、Uターン後3年以内に持家住宅を取得する場合、低利な「オアシス新潟定住促進マイホーム取得資金貸付制度」を利用できます。

※お問い合わせは、ハローワークおぢや(☎8212441)まで

参加者募集 新春囲碁将棋大会

日時 1月22日(日)

9時～17時

会場 生涯学習センター

参加費 一般 一五〇〇円

中学生 七〇〇円

申込期限 1月21日(土)

申込先 教育委員会(☎8913111)又は代表者野崎

(☎8913376)まで



ご利用ください 奨学金貸与制度

町では、学業に優れ、かつ経済的な理由で就学に苦勞されている方に奨学金を貸与しています。

奨学生の資格

1年前から町内に居住し、次に該当する者

①大学生または短大生

②高専生で第3年次終了者

貸与予定者数 4名

奨学金の額 月額2万円

奨学金の利息 なし

貸与の期間 貸与を決定した月から在学最短期間

第1回国際理解講座

国際大学

国際大学の学生が自国の歴史、文化、言語、日本との関係などを地域の人と語る文化講座が開催されます。お気軽にご参加ください。

日時 2月19日(日)

10時～16時30分

会場 国際大学

講座内容 アジア、中東・アフリカ、旧ソ連、南米の4

地域15ヶ国の講座

参加資格 県内在住の満18歳

以上の方

定員 各講座とも15名

参加費 一〇〇〇円(ただし

昼食代、交流会費として)

申込期限 1月31日(火)

問い合わせ先 国際大学学生

センター(☎0257179

1439)

働きながら学ぶ

県内公立高等学校

定時制過程生徒募集

応募資格 中学校卒業(平

成7年3月卒業見込の者含

む)またはこれと同等以上の

学力があると認められる

者。

1月10日は「110番の日」です

あなたの110番はすべて新潟市の警察本部につながります。あなたは聞かれたことに落ち着いて答えてください。

—公衆電話(赤・ピンク)からの110番のかけかた—

- ◆緊急通報ボタンを押してから、110番してください。
- ◆緊急通報ボタンのない電話の場合は、次のようにしてください。
- 店の人に鍵を操作してもらってから、ダイヤルしてください。
- 店の人がいないときは……
- ・まず「110」をダイヤルし、相手の声が聞こえたら受話器を置いて、呼び出しベルが鳴ったら受話器を取ってお話しください。

小千谷警察署 ☎82-4111

献血にご協力ください

(200ml/400ml)

日時 1月17日(火)

10時～12時、13時～15時

場所 生涯学習センター

対象 満16歳から65歳未満の健康な方

生涯学習センター 町図書館からのお知らせ

新年は 1月5日(金)から

開館します。